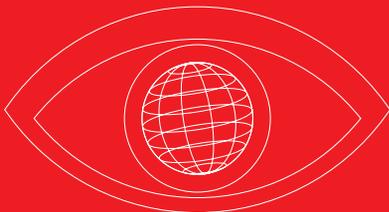


September 2004



Pick UP INTERNET MOVEMENT

ニュースな数字から見える9月のインターネット

100億_円

架空請求とオレオレ詐欺の被害額

いまだに「身に覚えのないアダルトサイトからの料金請求」などの架空請求メールが届く人も多いだろう。警察庁は9月8日にこうした事件に関する今年1月～7月のデータを公表した。架空の事実で金品を要求する「架空請求詐欺」の被害総額は約23億円、検挙件数は114件だった。詐欺の内容としては、有料サイト利用料金や借金返済、債権回収がほとんどだ。一方、親族を装って交通事故の示談金などを振り込ませるいわゆる「オレオレ詐欺」の被害総額は約77億円、検挙件数580件だった。これまで「架空請求は無視すればいい」とされてきたが、最近では小額訴訟を悪用した「無視できない手口」もあるようだ。

32%

個人情報を流出させた企業を絶対に利用しない人の割合

個人情報が流出したというニュースがあとを絶たない。あなたなら、そうした事件を起こした企業のサービスなどを利用しますか？ インターネット調査やコンサルティングを手がけるバルクは、こうした「個人情報危機管理に対する調査」を実施し、9月1日に公表した。これによると、商品購入やサービス利用などでかかわりのある企業（官公庁含む）で、個人情報流出が起きた場合に、「しばらく様子を見る」と答えた人が全体の35%、「絶対に購入・利用しない」が同32%、「なるべく・購入・利用しない」が同31%という結果だった。この数字、企業にとっては脅威となる水準なのかどうか……判断が難しい。

200M_{bps}

東京電力が実験する電力線通信の速度

光ファイバー接続サービスの値下げが相次ぎ、ADSLとの価格差が縮まったことで競争が一段と激化しそうだ。そんな中、東京電力は8月30日に最高200Mbpsの電力線通信（PLC）の実証実験を2005年3月末まで、同社の社宅で実施すると発表した。住友電工が開発した200Mbpsモデムを利用する。PLCは既存の電力線やコンセントを利用するので、家庭内LANなどを構築しやすい。ただ、実用にはまだ電波漏洩や混信などが懸念されている。同社では来年にもサービスの商用化を狙っているようだが、今回の実験ではインターネット接続は含まれていない。家庭ではよくタコ足配線をするけど、大丈夫なのかな。

285万_人

日本のオタク層の人口

「オタク」と聞くとどんな印象を持つだろう。好悪さまざまだろうが、こう呼ばれる人たちによって一大市場が形成されていることは間違いないようだ。野村総合研究所が8月24日に「日本のマニア消費者（いわゆるオタク層）の市場規模推計と実態に関する調査」の結果を発表した。アニメやコミック、ゲーム、アイドル、組み立てPCの主要5分野について調べ、全体におけるマニア層の人口は285万人、消費規模は約2,900億円に達する。特に組み立てPCを除くコンテンツ関連4分野の産業規模は約2兆3,000億円で、このうちオタク層の割合は11%も占め、もはや「ニッチ」とは言えなくなっている。

見出しの引用や個別記事へのリンクについては「問題ない」との判断 ニュースを自動で収集してページを生成する 「Google ニュース日本語版」がベータで開始

QR http://news.google.co.jp/

すでに利用している人も多いだろうが、9月1日からグーグルが「Google ニュース日本語版」をスタートさせた。2001年12月に英語版が開始してから2年以上もの時間があったものの、ついに始まった日本語版は、さまざまな議論を呼んでいる。これらの技術的・法的な疑問を米グーグル本社のインターナショナル・ビジネス・プロダクト・マネージャーであるリチャード・チェン氏にうかがった。

編集部(以下編): ページはどうやって編集している?

リチャード・チェン氏(以下チェン): ニュースの重み付けの判断は、ウェブの検索で使っているランキング技術を応用したものです。ただし、異なる所もあり、短期間で多くのメディアが同じニュースを取り上げているなら大きなトピックだというような判断もします。グーグルではページに人の手による編集は一切加えておらず、アルゴリズムによって自動的にページを生成しています。だから、ニュースの重み付けは、ニュースサイトや新聞社などの、各コンテンツを作り上げている人たちの判断を統合したものと考えていただければいいと思います。

編: サイトはどうやって選別した?

チェン: 検索対象となるサイトは、独自の基準でスタッフの目によって選びました。ほとんどが自動化されているGoogleニュースの中で、唯一の人手による作業です。ニュースソースとなるサイトの基本的な基準は「独自のコンテンツ」と「定期的な更新」の2点。610あるサイトのリストは公開できませんが、中身は常に入れ替え続けています。情報源のサイトにはいろんな所があって、主要な新聞社などだけでなく、海外で発行されている日本語新聞のサイトやマイナーな業界紙まで検索しています。

ニュースの開始に当たって、見出しの引用や記事へのリンクは法的に問題がないと判断したので、ニュースソースに個別の許諾を求めることはしていません。感触としては、だいたい歓迎していただけていて、特に地方紙の方には喜んでいただけたようです。

ただし、我々としてもコンテンツ制作者の意見は最大限に尊重したいですから、それぞれのサイトから要望があれば、リストから外しています。

編: 英語版から2年も遅れた理由は?

チェン: 日本語は難しいんですよ。日本語処

理の難しさを甘く見てはいけなないと、社内ではいつも話しています。それに日本のユーザーは高性能な製品やサービスに慣れているので、あまりいい加減な状態で出すわけにはいきませんでした。ベータ版なのは、まだ十分な精度ではないからです。普通に見ていても関係のないニュースが混入したり、見出しに変な文字が入ったりといったことがまだあります。正式版は、エラーがすべて解消できてからで、現時点ではいつとは言えません。

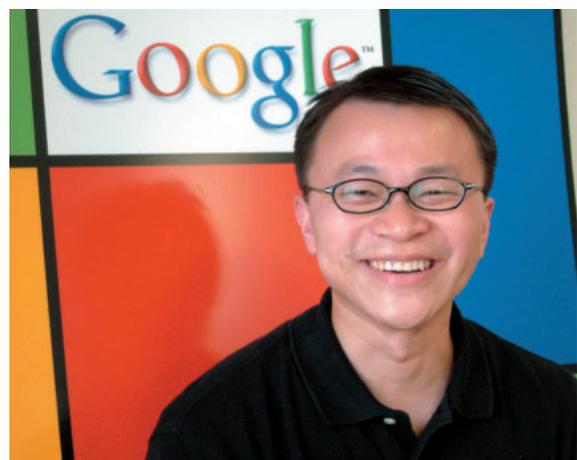
編: Google ニュースのビジネスモデルは?

チェン: 我々は、Google ニュースで直接利益を得るつもりはありません。これは顧客サービスという位置づけです。

グーグルは、ユーザーに喜ばれることであれば、じゃんじゃんやりたいと思います。そのためにフィードバックが欲しいのです。こんな機能があればとか、あのサイトを入れてほしいとか、気が付いたことがあればユーザーはどんな要望でも伝えてください。我々は、世界で一番ユーザー寄りにとんがった会社であると認識しているので、ユーザーの声にはできるだけ応えていきたいのです。



Google ニュースのトップページ。開始直後から、複数の全国紙のニュースがリンクに含まれていないことが話題になった。グーグルではできるだけユーザーの声に聴いていきたいと言う。



チェン氏は米グーグル本社に勤務する日本生まれのプロダクト・マネージャー。2004年1月号の特集記事「Google徹底解剖!」82ページにも、「Googlyな人」の1人として登場している。

オープンソースのブラウザー・メーラーのスタンダードを推進

Mozilla Japanが本格始動を開始
日本でも企業・組織向けのサポートを提供
<http://www.mozilla-japan.org/> <http://www.mozilla.gr.jp/>

Mozilla Foundationと提携した
非営利法人「Mozilla Japan」

日本国内におけるMozilla製品や関連技術の普及促進を目的とした組織「Mozilla Japan」が、米国Mozilla Foundationと正式に提携した非営利の有限中間法人として8月19日にスタートした。

Mozillaは、ウェブブラウザのNetscapeが1998年にブラウザエンジン「Gecko(ゲッコ)」としてオープンソース化されたプロジェクト。Netscapeの社員を中心に進められてきたMozillaプロジェクトは、AOL Time WarnerによるNetscape買収の影響などで縮小し、存続が危ぶまれてきたが、2003年にNPO法人「Mozilla Foundation」として米国で独立した。今回設立されたMozilla Japanは、Mozilla Foundationの公式アフィリエイトとなる。

Mozilla Japan理事の瀧田佐登子氏は、次のように語る。

「Mozilla FoundationはMozillaオープンソースソフトウェアプロジェクトに向けた組織的、法的、そして財政的支援を提供するために設立された組織で、現在、フルタイムの開発者は世界で40名。本拠地米国では10名がオペレーションにあたっていて、Mozillaをはじめとするプロダクトを精力的に開発・アップデートして、関連情報を提供

しています。

EUに次いで2番目のアフィリエイトとして、すでに15名のスタッフを採用しています。組織向けに導入サポート体制を構築するほか、国際化エンジニアの体制を充実させる予定です。

当面の目標は日本市場向けの製品ラインナップをそろえることで、Mozilla Suiteとも呼ばれる、メーラーやアドレス帳、IRCチャット、ウェブページ作成機能などを含めた統合ソフト『Mozilla』の機能拡張をベースに、よりスマートに質を高めた製品をリリースしていきます。10月には単体ウェブブラウザの『Firefox』や単体メーラーの『Thunderbird』の日本語版の正式公開を予定しています」

ユーザーコミュニティメンバーの一部はMozilla Japanの一部門として統合

Mozilla Japanは、国内でMozillaを支えてきた開発者コミュニティ「もじら組」[URL](#)の活動を支援しながら協調して活動するとしている。また、もじら組「和訳プロジェクト」のメンバーはMozilla Japanの一部門として活動することになった。

「もじら組でボランティアベースで進められてきた日本語版開発の成果を、Mozilla Japanの公式なものとして認められるようにしたかったのです。Mozilla Japanが独自で日本語化などをすると、そちらが正式版となり、もじら組の成果が認められなくなりますから(瀧田氏)

法人向けには有償サポートを
個人向けにはドキュメントを提供

Mozillaは、プロジェクト発足当初からオープンスタンダードを採用した、IEに比べてウェブの標準に近いブラウザとしての強みを最大限に主



Mozilla Japan理事 瀧田佐登子氏

張してきた。しかし、大量配布時に必要なインストーラーや、カスタマイズ性、信頼できるサポート組織や保証体系など、企業や行政機関などの組織で導入するために不可欠な体制が十分に整っていなかったことが普及の障壁になっていたと瀧田氏は言う。

「Mozilla Japanではそういった問題を解消するとともに、定期的にセミナーなどを開催するなどして、エンドユーザーとの連携を深めていきたいと考えています。

またMozillaには、Gecko以外にもXUL(ズールと読む)というXMLベースのインターフェイス記述言語があります。GeckoとXULを組み合わせればクロスプラットフォームのアプリケーションを簡単に作れます。GeckoとXULによって業務アプリケーションのプラットフォームとしての利用が広がっていくと期待しています。

Mozillaのエンジンである『Gecko』は世界で2500万人のユーザーに利用されており、米国ではセットトップボックスなどへの組み込みが進んでいます。日本でもカーナビを中心に日本ならではの組み込み事例を生み出していきたいと考えています」

すでにMozilla Japanサイト上には、各種のMozilla関連ニュースや、セキュリティに関する情報が掲載されている。

(増田真樹@metamix.com)



アスクジープスが一般向け検索エンジンのベータ版をスタート 来年には自然語検索もスタートを予定 “第三の検索エンジン”を目指す

URL <http://ask.jp/> URL <http://teoma.com/>

企業向けサービスから
一般ユーザー向けに方針転換

検索エンジン大手米アスクジープスの日本法人アスクジープスジャパンは、新たに消費者向け検索エンジン「Ask.jp」のベータ版を8月24日に公開した。

アスクジープスジャパンは、米アスクジープス(47%)とトランスコスモス(47%)の共同出資で2000年9月に設立され、これまで企業サイト向けの検索サービスを提供してきた。今回、方針を転換して、アジアで初めて一般ユーザー向けの検索サービス事業に着手する。すでに米国では企業向け事業は売却済みで、アスクジープスの世界展開に歩調を合わせる形となる。

単なるリンクによる判断ではなく
“オーソリティー”を見つける

「Ask.jp」の特徴は、検索キーワードに関する“オーソリティー”を探し出すところにある。グーグルなど多くの検索エンジンでは、ページに張られているリンクの数を計算して“人気度”に換算するが、Ask.jpでは、キーワードを多面的に評価したうえで検索結果に反映すると言う。

たとえば、自動車に関する専門的なキーワードで検索する場合、自動車には詳しくないがおもしろおかしく解説する人気サイトよりも、専門家として認知されている人物による発言のほうが信頼できるだろう。Ask.jpは、そういった現実社会における“信頼度”を察知する仕組みが売りだ。

この仕組みは、2001年から米アスクジープスの傘下に入った米テオマテクノロジー  が開発したSSP(Subject Specific Popularity)という技術を使っている。グーグルなどと大きく違うのは、“概念グループ”という評価軸を使い、検索対象となるサイトやそこにリンクを張っているサイトがどの概念グループに所属しているかを分析して、各リンクを、所属する概念グループからのリンクとして換算することだ。これにより、検索結果にノイズが混ざりにくくなっていると言う。

ジープスおじさんに何でも聞いて

Ask.jpのトップページを飾る小粋なおじさんの名前はジープス(Jeeves)。イギリスの有名小説家P. G. ウッドハウスの小説に登場する執事の名前である。質問をすれば何でも答えてくれる有能ぶりからアスク

ジープスの商標として採用され、1999年のIPOの際には、「わからないことは執事のJeevesおじさんに訊こう」というコピーでキャンペーンを行った経緯がある。

今後、Ask.jpは、2005年初頭の正式オープンを目指し、現在のSSPベースの検索エンジンに加えて自然語サーチを準備している。日本の検索エンジンの代表格として認知されるべくサービスの充実を図り、同時に収益源となるリスティング広告の提供を開始したい考えだ。アスクジープスジャパンCEOの塩川博孝氏は次のように語る。

「インターネットから検索行為がなくなる限り、検索エンジンのビジネスはなくなりません。しかし、単純にこれからスタートするリスティング広告だけで売り上げが伸び続けるとは思っていません。これからはワン・トゥ・ワンの広告モデルも必要となるでしょう。それには携帯電話への対応をはじめ、すでに米国で提供している製品検索、ニュース検索などの提供をも視野に入れたいうえで、フラストレーションゼロのサービスを目指す必要があると考えています」

(増田真樹@metamix.com)



検索画面(下図)も検索結果(左図)もシンプルで使いやすい。site:やinurl:などの一般的な検索オプションも一部が利用可能だ。



株式会社アスクジープスジャパン
代表取締役社長CEO 塩川博孝氏

来年開催の世界情報サミット第2フェーズに向けた議論の幕開け

インターネットは誰が統治するのか？

国連での議論を前に日本でも関連組織がスタート

URL <http://www.igtg.jp/>

情報社会のあり方を世界レベルで議論しよう、と、昨年(2004年)の12月10日から12日に国連の主催による世界情報通信サミット(WGIS: World Summit on the Information Society)が開かれたのはご存知だろうか？ ジュネーブで開催されたこのサミットは第1フェーズと位置づけられ、採択された行動計画の評価や残された議論を再度行うために、来年の11月16日から18日にチュニス(チュニジア)で第2フェーズが開催される。

ここで言う残された議論とは、インターネットの統治(ガバナンス)はどうあるべきかという問題と、地域間の情報格差(デジタルデバイド)を解消するための資金メカニズムはどうあるべきかという問題である。

中でもインターネットガバナンスについては、ドメイン名やIPアドレスなどの管理を行う民間組織ICANNのあり方やポリシー決定のプロセスに対する意見などが出され、政府の介入を強めたい発展途上国と民間

主導を支持する先進国の対立などが注目された。その後の議論では、ネットワークセキュリティやスパムなどの問題も取り沙汰され、インターネットの統治問題は大きな課題となっている。

このため、WSISの基本宣言では、「国連事務総長に対して、インターネットガバナンスに関する作業部会の設置を要請し、「2005年までにインターネットガバナンスについて調査し」とるべき行動についての提案を行う」としている。

そして、いよいよこの作業部会、すなわち「国連インターネットガバナンスワーキンググループ」(WGIG: The UN Working Group on Internet Governance)の設立に向けた動きが始まった。

民間主導を提唱する組織が設立

WGIGは来年開催のWSIS第2フェーズに向けて、インターネットガバナンスに関す

る調査と行動のドラフトを作成する重要な役割を果たす。原稿執筆時点(9月17日)では詳細は不明だが、9月20日と21日にはジュネーブでWGIG設立のための協議会が開催されている。そこではWGIGの組織構成や会員を選ぶ基準、インターネットガバナンスとして扱う問題の順位付けなどが議論の中心となっていると予想される。この10月には正式な会員とともにWGIGが発足する予定となっているが、WGIGでの実質的なインターネットガバナンスの議論は、会員が確定した11月以降に行われる手はずとなっている。

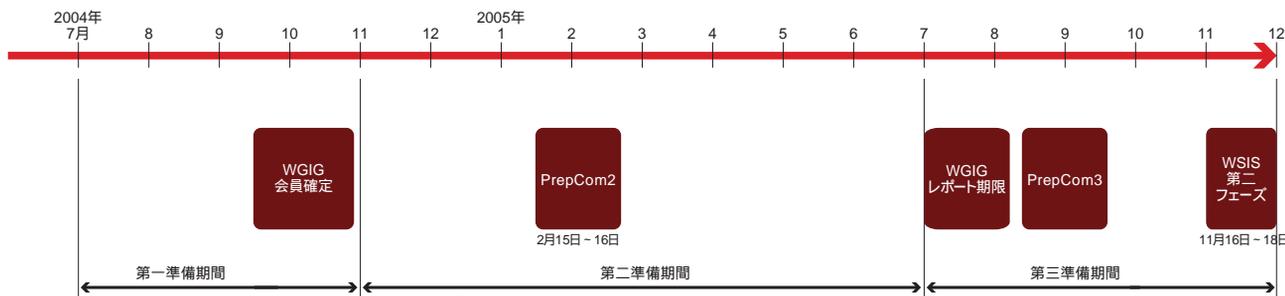
この動きにあわせるように、日本でも「インターネットガバナンスタスクフォース(IGTF-J)」が8月20日に組織された。IGTF-Jの会員には、インターネット協会や日本インターネットプロバイダー協会、日本ネットワークインフォメーションセンター、日本レジストリサービスが名を連ねている。その背景には、インターネットガバナンスは「政府主導の管理強化ではなく、あくまで民間主導を基本とすることを訴えようとの趣旨」がある。

IGTF-Jは9月13日にWGIG設立に対する意見書を提出し、「政府の介入から独立した政府、産業界、市民社会が対等の立場の構成」「委員は20名以内に抑え、必要に応じて小委員会を招集」「オープンな会合を求め、欧米語になじまない人たちに配慮した翻訳のプラットフォームの設置の提案」などを訴えている。

インターネットガバナンスで扱う問題とは何か？



WSIS第2フェーズまでのみちのり



モバイル&ホームネットワーク時代の本格到来!

松下電器産業の「DIGA」向けインターネットサービス「DIMORA」(ディモラ)の本サービスが9月21日から開始

Internet Service

URL <http://dimora.jp/>

売れ行きが好調で人気が高い家庭用HDD/DVDレコーダーが、また一段と進化を遂げた。これまでのように、単純にインターネットにつなげて番組表から録画予約ができるだけにとどまらない。PCや携帯電話と連携して、家庭におけるネットワークストレージやサーバーのような機能も付加されてきた。

これを実現したのが、松下電器産業のDVDレコーダー「DIGA」(ディーガ)シリーズと、DIGA向けのインターネットサービス「DIMORA」(ディモラ)だ。DIMORAは、今年6月からお試しサービスを行ってきたが、9月下旬からDIGAの新製品が順次発売されることに併せて、9月21日に正式に本サービスを開始した。

携帯やPCと連携してサービス提供

DIMORAは、松下電器産業が運営するポータルサイトと、各サービス事業者が行うサービスとの連携によって提供される。PCや携帯電話を通じて自宅にあるDIGAの録画を予約したり、DIGAに画像を保存したりすることができる。

DIMORAを利用するには、ADSLなどの常時接続回線と宅内のAV機器を結ぶブリッジ機器である「ブロードバンドレシーバー」(BBレシーバー、DY-NET2)が必要だ。これに対応したDIGA(新製品DMR-E330H、E220H、E87H、E250V、E150V)と組み合わせる。また、BBレシーバーを内蔵したDIGA(新製品DMR-E500H、既存製品E200H)もある。ただし、BBレシーバーとの接続に対応していないDIGAもあるの注意してほしい。

連携できるPCはウィンドウズ2000以上のOSを搭載したマシンだ。携帯電話は、NTTドコモのiモード(HTML3.0対応機種)をはじめ、au、TU-KAのEZweb(WAP2.0対応機種)、ボーダフォンのVodafone live!(パケット対応機種)となっている。

これらの対応機器が用意できたら、DIMORAの会員登録(無料)を行い「ネット家電サービス共通ID」を取得する。この時に使用機種や住んでいる地域などの情報を入力すれば、すぐにDIMORAを利用できる。

メールで写真を家庭のDIGAに保存

DIMORAのサービス事業

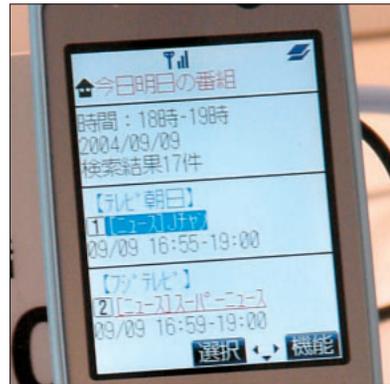
者は現在3社あり、それぞれ個別に利用登録する。インタラクティブ・プログラム・ガイド社は、PC向けの「テレビ番組ガイド『Gガイド』」を提供している。インターネットに接続したPCのブラウザで専用テレビ番組表(EPG)を表示し、家庭内外を問わずに月額210円(税込み)で録画予約(録画予約サービスは松下電器産業が提供)が可能だ。EPGを閲覧するだけなら無料で利用できる。

同様に、携帯電話向けの番組予約録画サービスを展開するのが、アロハワークスが提供する「テレビーバ!」だ。テレビ番組情報は、TSUTAYAのエンターテインメントデータベースと連動しているため、出演者のプロフィールなどの付加情報が得られることを強みにしている。情報閲覧は無料で、録画予約サービスを利用するには月額315円(税込み)かかる。

また、ナノ・メディア社は携帯電話向けの総合サービスを展開する。「TVnano/番組サーチ」では、他の2社と同様に携帯電話から番組情報の閲覧や録画予約ができる。このほか、携帯電話やPCから指定のメールアドレスに写真データをメールで送信すると、専用サーバーを通じて自宅にあるDIGAに写真が保存される「写真ポケットサービス『写ポン』」も提供している。保存した画像は外出時に携帯電話で閲覧することもできる。



PC向けの「テレビ番組ガイド『Gガイド』」の画面。情報閲覧は無料だが、録画予約機能を使うと月額210円かかる。



携帯電話から番組を予約している画面。

さらに、同社では、利用者の嗜好に合わせた番組を紹介する「アプリ」録っておきアプリ(NTTドコモ505iシリーズ以降の機種)も提供している。これはNTTドコモの赤外線通信機能に対応した携帯電話から、テレビのリモコンのようにDIGAを操作して録画予約するものだ。外出先ではインターネットを通じて携帯電話から予約録画可能だ。これら、ナノ・メディアの3つのサービスは月額210円~367円(税込み)で使える。

このように、インターネットを利用して家庭におけるサーバー的な使い方も視野に入れ、いつでもどこからでもアクセスできるように進化したHDDレコーダー。普及著しいこの製品を核にして、ネットワーク家電は具体的に大きく飛躍し始めたのかもかもしれない。

動的ページ・予約投稿・サブカテゴリなど待望の新機能

Movable Type 3.1が米国で登場 TypePadも1.4にバージョンアップされる

URL <http://www.sixapart.com/>

Movable Type 3.1登場

米シックス・アパートは、同社のブログツール Movable Type(以下 MT)の最新版となる MT 3.1 を8月31日にリリースした。

MT 3.0D から3か月という短期間でリリースされた新バージョンは、MT 3.0D から無償でバージョンアップできるマイナーバージョンアップにもかかわらず、下に示すような多くの新機能が追加されている。

ただし、動的生成ページや予約投稿の機能を利用するためには、mod_rewrite や cron といったウェブサーバーや OS の設定を変更する必要があるため、主に自由にシステム設定を変更できる環境を持っている人に向けた機能となっており、初心者向けレンタルサーバーなどでは利用できないことが多いだろう。ただしサブカテゴリの

機能はどの環境でも利用できる。

MT 3.1 の日本語版は、米国でのリリースから45日以内に、つまり10月半ばを目途にリリースされる予定だ。また、MT 3.1 日本語版では、プラグインパックの提供は未定となっている。

TypePadもバージョン1.4に

MT に続いて、同社のブログの ASP サービス TypePad もバージョンアップされ、TypePad 1.4 となった。TypePad 1.4 では、写真・ムービー・オーディオなどのマルチメディアを柔軟にレイアウトできる「Mixed Media テンプレート」が利用できるようになった。これは mezzoblue.com のデザイナー Dave Shea のデザインによるもので、「フォトカレンダー」「時系列」「芸術的」などのレ

アウトスタイルを選べる。

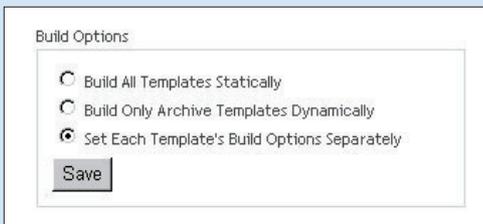
マルチメディアテンプレート以外にも、ブログやアカウントを管理するさまざまな作業を簡単にできるように改善されるなどのアップデートがなされている。

TypePad 日本語版のバージョンアップ時期は未定となっている。

また、同社は、モバイルによるブログの利用に関してノキアと提携することを9月8日に発表している。ノキアは Nokia Lifeblog [URL](http://www.nokia.com/lifeblog/) という、携帯電話のカメラで撮影した写真でマルチメディア日記をつける携帯電話 / PC 用のアプリケーションを開発しており、2005年には Atom API によるブログへの記事投稿もできるようになる予定だ。

URL <http://www.nokia.com/lifeblog/>

Movable Type 3.1 の新機能



動的生成ページ

これまでと同様に「再構築」で静的な HTML ファイルを生成する形と、PHP スクリプトによって動的にページを生成する形を選べるようになった。動的ページを生成するかどうかはテンプレートごとに決められるので、アクセスの多いトップページや RSS は静的 HTML にして、アーカイブページは動的に生成するようにも設定できる。再構築が必要なページ数を減らし、かつ柔軟なページを作れるようになった。

Categories	Actions	Entries	TrackBacks	Delete
食べ物	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
うどん	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
讃岐	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
稲庭	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
ラーメン	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
味噌	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>
つけ麺	Create Move	0 entries	0 pings	<input type="checkbox"/>

サブカテゴリ

これまではカテゴリは1段階のみで、サブカテゴリを設定するにはプラグインを使う必要があったが、標準でサブカテゴリに対応した。サブカテゴリごとの親カテゴリの下に移動するの簡単に行える。



予約投稿

公開する日時を指定してあらかじめ記事を投稿しておいて、指定した日時になると公開される機能が追加された。

TypePadキャラクター大募集!

シックス・アパートでは、日本のユーザーやファンを対象に TypePad のマスコットキャラクターを募集する。応募作品の中から選ばれたキャラクターが、TypePad のグローバルキャラクターとして採用される予定だ。TypePad のイメージに合った、ブログの自由な雰囲気を伝える独創的なキャラクターをふるって応募してほしい。

受付期間: 9月下旬 ~ 10月20日 24時まで
商品: TypePad にぴったりのパソコンその他(予定)

応募方法: JPEG、GIF、AI などの画像データをメールで送付
経歴、性別、年齢など、応募資格に制限はない。詳細は次のページを参照。

URL <http://www.typepad.jp/mascot.html>

プラグインパック

MT 3D のリリースと同時に米シックス・アパートが開催したプラグイン開発コンテストに応募されたプラグインの中から選ばれた、高機能プラグインのセットが提供された。

プラグイン開発環境の充実

MT の各種機能を、さらにプラグインで拡張できるようになった。

電子メールの信頼回復を目指してSender IDのサポートも表明

IronPortのメールセキュリティアプライアンスに新製品 日本語コンテンツフィルター搭載で1時間50万通を処理

URL <http://www.ironport.com/jp/>

mail

IronPortは、セキュリティ対応のメールアプライアンス「IronPort Cシリーズ」の新バージョンを10月から出荷する。

Cシリーズは、オリジナルOS「AsyncOS」にメールサーバーとメールセキュリティの機能を搭載した専用機器で、システム自体への不正な侵入がほとんど不可能となっている。ウイルスチェック、スパムフィルター、コンテンツフィルターなどの機能も搭載しており、送受信するメールのセキュリティを確保して情報漏洩を防ぐ。



また、ブラックリストやスパム情報など、世界中のメールトラフィックの約25%のメールから判断した情報によって送信者の「評価」を算出する同社のメールモニタリング/送信者評価サービスのSenderBaseや、SenderBaseと連携して動作するホワイトリストサービスのBonded Senderの情報によって、明らかに問題があるメールや明らかに問題のないメールは、処理の重いコンテンツフィルターを通さずに処理することで、1時間に50万通ものメールを処理できる性能を持っている。

新バージョンでは、コンテンツフィルターが日本語に対応した。また、SenderBaseを使って疑わしいトラフィックパターンを特定することで、ウイルスである可能性のある

メールを、ウイルス対策ベンダーが対応パターンを出す前に検知して一時的に隔離する機能も搭載され、ポリシー管理やクラスター管理の機能も強化された。

CEOのScott Weiss氏は次のように語る。

「流通する総量が劇的に増えたことや、スパム、ウイルス、企業ポリシーなどのために、ミッションクリティカルなメールの処理コストが高くなっている。当社は、送信者の評判やトラフィックパターンからメールの信頼性を判断して、効率よく処理するアプローチを採っている。今回、送信者認証標準のSender IDを正式にサポートしましたし、今後も電子メールの信頼性を回復するための努力を惜しみません」

ウェブアプリケーションのユーザーインターフェイスはHTMLからFlashに移行するか？

リッチインターネットアプリケーションを実現するソリューション「Macromedia Flex 1.5」が登場

URL <http://www.macromedia.com/jp/software/flex/>

Web
Development

現在、ブラウザ内の画面を操作する、いわゆるウェブアプリケーションが主流となっている。ただ、オンラインバンクの決済取引のようなトランザクション処理や、コマースサイトのように決済に進むまで幾度かの段階を踏むようなアプリケーションの場合、静的なHTMLファイルをやり取りするウェブアプリケーションの実装では、ユーザーの操作性を向上させるには限界があった。

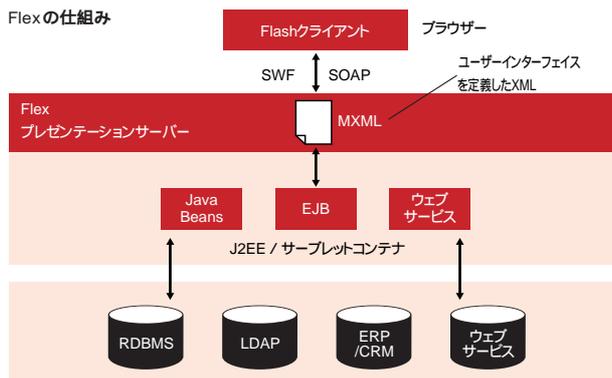
この問題を解決するのにマクロメディアが提唱しているのが、「リッチインターネットアプリケーション（RIA）」というFlashベースのユーザーインターフェイスを持つアプリケーションの構築である。9月9日にはRIAを構築するためのMacromedia Flex 1.5（以下、Flex）を発表した。

Flexでは、Flexプレゼンテーションサーバーにユーザーインターフェイスを定義したXMLファイルを置くだけで、ブラウザからリクエストされた際に、Flashのインターフェイスが自動生成されて配信される。既存のウェブアプリケーションサーバーをそのまま利用できるのも大きな特徴。開発環境も既存の統合開発環境（IDE）を使えるので、企業向けシステムを構築しているエンジニアに受け入れやすいとい

ている。

Flexの価格は2CPUライセンス（12か月のメンテナンス・サポートを含む）で157万5,000円（税込み）から。

Flexの仕組み



米マイクロソフトがソフトとサービスの両面からアップルを追走 メディアプレイヤーの最新版とともに 米マイクロソフトがついに音楽配信サービスを提供

URL01 <http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/mp10/> URL02 <http://music.msn.com/>

米マイクロソフトは最新版の「ウィンドウズメディアプレイヤー10」URL01の英語版を9月2日に発表し、同時にMSN Music(プレビュー版)URL02のサービスを開始した。現在1曲99セントで楽曲を販売している。

今回のメディアプレイヤーは、大きく2つの機能が強化されている。

1つ目は「Digital Music Mall」と呼ばれるオンラインストアとの連携機能だ。プレイヤーから音楽配信サービスのMSN MusicやNapster、Musicmatch、MusicNow、Wal-Mart Music Downloadsなどへ直接アクセスして音楽のダウンロード購入が可能になった。

2つ目は「ウィンドウズメディアDRM10」という著作権管理技術だ。これにより、サ

ブスクリプションサービス(月単位の定額料金制サービス)といったアップルのiTunes Music Storeでは行っていないサービス形態での音楽配信が可能となる。これらの音楽サービスを軸に

iTunes Music StoreとiPodのタグを追いかけられる体制をとっている。また、新たに搭載された「Auto Sync」機能によりWindows Portable Media Center(PMC)をはじめとする携帯プレイヤーとの接続やファイル転送を高速に行える。気になる日本語版のウ

ィンドウズメディアプレイヤー10は今秋公開される予定だ。



ウィンドウズメディアプレイヤー10の画面。MusicStoreボタンが確認できる。



MSN musicは現在プレビュー版が稼働中。ウィンドウズメディアプレイヤーから楽曲の直接ダウンロードが可能。

音楽配信コミュニティ「レコミニ」がオープン ソーシャルネットワーク+P2Pでつながる 「自由な音楽」は日本の音楽配信の台風の目となるか

URL <http://recommuni.jp/>

ソーシャルネットワークを基本にした音楽配信コミュニティ「レコミニ」のベータ版が9月1日にオープンした。

ソーシャルネットワーキングサイト同様、会員からの紹介によってのみ入会可能で会費は無料。ダウンロードは1曲50円からとなっている。最も大きな特徴はDRMを用いないことだ。これにより個人で楽しむ範囲で楽曲データを自由に扱うことができる。楽曲データはmp3やOgg Vorbisなど電子透かしの入るものに限定する。

レコミニはP2Pのように会員間で楽曲を配信する。自分のおすすめ曲や他会員のリクエスト曲をレコミニにアップロードし、その楽曲の権利処理をレコミニが代行する。権利処理の済んだ楽曲から順次

ダウンロードが可能となる。

価格は楽曲の著作権保有者がつける。最低価格50円からの設定が可能だ。配信された楽曲の著作権使用料はレコミニが支払いを代行する。楽曲の売り上げからレコミニ手数料と著作権団体への支払いを差し引いた額が著作権保有者に支払われる。

「現在賛同しているレーベルはインディーズ10社ほどだが、状況は日々変化している」と、代表取締役福岡氏は語る。

本稼働開始予定は10月12日。目標会員数は来春5万人、1年で15万人としている。

違法なファイル交換に対して「善

意」だけで立ち向かえるのかという不安はあるが、DRMによって利用制限される音楽配信が本当に音楽配信の理想の姿なのかを考えるためにも今後注目すべきサービスだろう。



レコミニのトップページ。信頼関係で結ばれたネットワークを築くため完全紹介制となっている。

SVG Open 2004 カンファレンスが慶應義塾大学で開催される 携帯電話やT-engine用のSVG ブラウザーも登場 地図や地上波デジタル放送にSVG コンテンツの今後を探る

URL01 <http://www.jamaps.org/> URL02 <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soumu/bousai/map/>

9月7日から9月10日まで慶應義塾大学三田キャンパスにてSVG Open 2004カンファレンスおよび展示会が開催された。

SVG Scalable Vector Graphicsとは、W3Cで勧告されたXMLベースの二次元ベクター画像記述言語であり、Flash同様のアニメーションもサポートしている。またXMLベースのためテキストとして記述することが可能である。

基調講演では日本IBM東京基礎研究所特別研究員の村田真氏が壇上に立ち、SVGやsXBL、XFormsといった複数のマークアップ語彙を含むXML文書の検証について述べた。

次にKDDI研究所の井ノ上直己氏の講演ではBREWやJava上で動作する携帯電

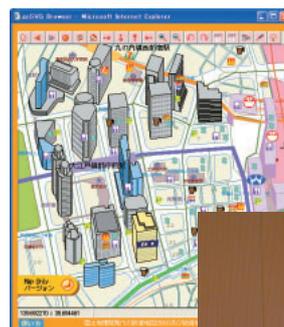
話向けのSVG ブラウザーやPC、T-engine上で動作するSVG ブラウザーなどが紹介されたURL01。

ケータイに採用されているFlashについても触れて、「KDDIはSVGの使用を諦めていない」とSVGの将来的な採用を示唆した。同研究所ではSVGコンテンツの地上波デジタル放送での利用も研究中だ。

展示会ではSVG ブラウザーやアニメーション作成も可能な「アドビラストレーター」のプラグインとして用意されているオーサリングツール、SVGで作られた函館市の防災マップURL02なども紹介されていた。

ケータイからPC、地上波デジタル

放送までSVGの可能性は広く、その研究も進んでいるようだが、コンテンツとして広く世に出るにはまだ多少時間がかかりそうだ。



基調演説で、壇上で語る村田氏。



PC向けgoSVG(SVGを拡張した地理情報流通フォーマット)ブラウザのデモ。

大きな変更で互換性問題が続出し、適用を禁止する企業も ネットワークのセキュリティーを大幅に向上させる ウィンドウズXP サービスパック2のダウンロード開始

URL01 <http://www.microsoft.com/japan/technet/prodtechnol/winxppro/maintain/sp2aumng.msp>

URL02 <http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/compatible/sp2/>

マイクロソフトは9月2日より、ウィンドウズXP向けのアップデートパック「Windows XP Service Pack 2セキュリティー強化機能(以下SP2)」の配布をウィンドウズアップデートなどを通じて開始した。今回のアップデートは、単なる不具合修正パッチをまとめたものではなく、インターネットに接続するうえで必要なセキュリティー機能を新たに追加するもの。SP2の適応により向上するセキュリティー保護のための技術は「ネットワーク保護」「メモリー保護」「安全性の高い電子メール」「安全性の高いブラウズ」「コンピュータの保守性の向上」の5つ。

一方で、SP2にはウィンドウズXPの根幹にかかわるファイルを含めて大幅な変更が加えられているため、既存のアプリケーシ

ョンやハードウェアとの互換性問題が注目されている。社内システムとの互換性が十分に検証できていないことを理由に、社内のPCへのSP2適用を禁止した企業もある。

これらの企業ユーザーの声を受けて、マイクロソフトではウィンドウズアップデートの自動更新機能からSP2を除外するツールURL01を公開した。

また、マイクロソフトは自社のウェブ上で「各メーカー別 Windows XP Service Pack 2 関連情報」URL02として互換性に関する情報を公開している。これには100を超えるソフト/ハードウェアベンダーのSP2への対応状況を告知するページが掲載されている。自分のパソコンにSP2の適用を考えているユーザーは、こちらを見て

自分が使っている周辺機器やソフトがSP2に対応しているかどうかを確認してからの適用をおすすめする。



SP2を適用するとコントロールパネルに「セキュリティセンター」という項目が追加される。標準でファイアウォールが有効になるため、SP2適用当初は許可する通信の設定作業が必要となる。

ネットレイティングスが新たにチャンネル分析レポートを開始 圧倒的なヤフーにもコンテンツの死角あり! 他のポータルサイトは独自性で切り込む

URL <http://www.netratings.co.jp/>

ポータルサイトの中では、ほぼすべての分野(チャンネル)でヤフーがトップだと思っている人も多いのではないだろうか。ネットレイティングスが9月8日に発表した主要ポータルサイトの「チャンネル分析レポート」の結果を抜粋したのが右の表だ。この分析レポートは月単位で集計され、月額31万5,000円で販売が開始された。

表を見ると、たしかにヤフーが圧倒的だ。しかし、他のポータルもまったく歯が立たないわけでもない。「辞書/翻訳」では、エキサイトが首位でgooが2位だ。また、女性向けでは「恋愛・結婚」「ウーマン」でMSNやインフォシーク、エキサイトが強みを見せた。独自性を活かした棲み分けやブランディングが今後進む可能性もある。

表:ポータルのチャンネル別利用者数

チャンネル	総利用者数	Yahoo!	MSN	goo	infoseek	@nifty	BIGLOBE	excite
検索	28079	1	2					
ショッピング/オークション	17584	1	3					
ニュース	16146	1	2		3			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
辞書/翻訳	3001	2		3				1
動画	2587	1	NA	3			2	
美容/健康	2443	1	2			3		NA
グルメ	2396	1	2	3		NA		
占い	2002	1	2			3		
コンピュータ	1882	1	3		NA		2	
仕事	1656	1	2		3			
自動車	1569	1	2			3		
チャット	1163	1	2		3			
ウーマン	1029	NA	NA	NA	2	3		1
グリーティング	953	1				3	2	
懸賞	910	1	3				2	
学習	861	1	2		3			
不動産	746	1	2			3		
恋愛/結婚	640	2	1			NA	3	NA

(総利用者数の単位は千人、7サイトの上位3サイト、数字は順位、NAは該当チャンネルなし)

Service

月額500円相当のレンタルサーバープラン アット・ワイエムシーの「どっとネーム10」が新スタート

レンタルサーバー事業を展開するアット・ワイエムシーは、個人対象の新nameドメインプラン「どっとネーム10」を10月1日に開始する。このプランは、nameドメインで「名前@名字.name」の形のメールアドレスが利用できるようになったことに合わせて

新プラン名「どっとネーム10」
【設定・利用料金】
年額6,000円(月額換算500円)
【サーバー容量】10MB
【メールアドレス】1アドレス
【その他】メールウイルス駆除サービス付属、利用は個人のみ、ドメイン登録者情報はアット・ワイエムシー、他社からの移転や他社への移転は不可

させたものだ。独自ドメイン名を取得できるが、ドメイン名の取得自体は同社が行い、サーバーと併せて貸し出される形となる。

URL <http://www.ymc.ne.jp/kino/kari2.html>

社内でのコミュニケーションと情報共有を促進 企業向けブログサービス「ドリコムオフィス」登場

ドリコムは、ブログを使って企業内コミュニケーションやナレッジマネジメントを促進するサービス「ドリコムオフィス」を発表した。サービスはASPで提供され、企業ごとのトップページに各社員のブログの最新エントリーや、カテゴリー別の記事一覧などが表示される。ブログという形式を採用することで、従来のナレッジマネジメントシステムよりも社員が更新しやすくなることを狙った。



URL <http://www.drecom.co.jp/service-office.html>

「SPPDレンタルサーバー」が会員向けに 無料ウイルス駆除サービスを開始

スタジオマップが手がけるレンタルサーバー事業「SPPDレンタルサーバー」は、日本エフ・セキュアのウイルス駆除製品「F-Secure アンチウイルス」を採用し、会員向けのウイルス駆除サービスを9月1日から無料で開始した。フィンランドのF-



Secure研究所は年中無休で稼働し、新種のウイルスに対して緊急時は2時間以内、通常でも1日2回パターンファイルを更新している。

URL <http://www.sppd.ne.jp/>

アウンコンサルティングがSEO/SEM講座を10月から開始 同社の極秘テクニックを安価に学ぶチャンス

アウンコンサルティングは10月12日から、中小企業のウェブマスター向けにSEO/SEMのノウハウを有料で提供する「SEM アカデミー」を開設する。この講座はSEO/SEMを自社内で始めたものの成果が上が

SEMアカデミーの概要
【開始日】10月12日 入門は10/11/12月、基礎は11/12月、応用は12月に、それぞれ3回ずつ開設
【入学金】10,000円(初回受講時のみ)
【受講料】50,000円(1講座あたり)
【会場】東京・アウンコンサルティング本社
問い合わせ先: 03-5805-2801

っていないという企業をターゲットにしたもの。当初はSEOの入門/基礎/応用の3講座を開設し、その後リスティング広告の運用も含めた総合的な講座や地方向けのコースなどを設置していく予定。

URL <http://www.sem-ac.jp/>

広告ページ

プロバイダー各社もVP1000に対応したIPテレビ電話サービスを開始 NTT東日本・NTT西日本がフレッツサービスに対応した IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1000」を販売

NTT東日本およびNTT西日本は、Bフレッツ、フレッツ・ADSLに対応したIPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1000」(以下VP1000)の販売を開始した。ぷららなどのプロバイダー各社が提供するIPテレビ電話サービスと組み合わせることで、簡単に高品質の映像コミュニケーションを実現できるほか、専用のウェブブラウザとメールソフトで、インターネットコンテンツの閲覧やメールの送受信も行える。また、NTT東日本およびNTT西日本が提供する「Lモード on フレッツ」を利用した情報検索やメールの送受信も可能だ。

VP1000は、30万画素のCMOSイメージセンサーとタッチパネル式の8インチTFT液晶ディスプレイ装備。MPEG-4コーデックを搭載することで、VGA画面表示サイズで最大2Mbpsの映像の送受信を実現した。ウィンドウズメディア9にも対応しており、最大2Mbpsまでの動画コンテンツの再生も行える(デジタル著作権管理(DRM)を含むコンテンツ、2Mbps以上のコンテンツなどについては再生できない)。さらに、IPv6にも対応し、NTT東日本が提供する「フレッツ・ドットネット」によるテレビ電話サービスにも利用できる。

VP1000本体は、幅214×奥行227×高さ243mmのコンパクトサイズで、シルバー、ホワイト、ブルー、ピンクの4色が用意される。本体には「インターネット」「メール」「TV電話」の3つのボタンが装備され、ワンタッチで各機能にアクセスできるほか、電

話番号のダイヤルやウェブページの情報選択などは画面をタッチするだけの簡単操作。文字入力もタッチパネルで利用できるソフトウェアキーボードから容易に行える。USB1.1×2ポートを搭載し、外部キーボードを利用することも可能だ。

また、タッチパネルを最大限活かせるように、本体にマイクとスピーカーを内蔵。受話器を持たずに会話ができるハンズフリー通話が可能なほか、オプションでハンドセットも用意される。

さらに、通話中にタッチペンで手書きの絵や文字を書き込める「メモ帳機能」(書き込んだメモは通話相手にそのまま送信することもできる)や、登録した相手の名前が表示されたボタンにワンタッチするだけで発信可能な「短縮ダイヤル機能」など、タッチパネルを活用したさまざまな機能を持つ。

このほか、ビデオカメラをつないで通話相手に見せたり、相手の映像をテレビに映したりできる映像・音声の外部入出力端子を装備。ビジネス向けテレビ会議多地点接続サービスにも対応しており、複数の事業所を一度につないだテレビ会議にも利用できる。

VP1000の本体価格は62,790円(税込)で、NTT東日本では月々500円(税込)、NTT西日本では月々400円(税込)の分割



URL <http://www.fletsphone.com/> (NTT東日本)

URL <http://www.ntt-vshop.com/> (NTT西日本)

払いも用意されている。

VP1000の販売開始に合わせて、プロバイダー各社もIPテレビ電話サービスを新たにスタートさせた。ぷららは個人向け「ぷららフォン for フレッツ プラスV」と法人向け「ビジネスぷららTVフォン」を、@niftyは「@niftyビデオフォン-F」、BIGLOBEは「BIGLOBE TVフォン(PN)」、WAKWAKは「WAKWAK TVフォン」をそれぞれ提供。いずれもIPテレビ電話の月額基本料金は315円(税込)で、通話料金は8.4円(税込)/3分となっている。このほか、ASAHIネットとhi-hoがIPテレビ電話サービスの提供を検討中としている。

BIGLOBE TVフォン(PN)の料金

基本料		315円/月(税込)
通話料	テレビ電話通話	BIGLOBE TVフォン(PN)の利用者同士の通話 8.4円/3分(税込) ぷららネットワークスのIP電話基盤を利用するIPテレビ電話サービスへの通話 8.4円/3分(税込)
	音声のみの通話	BIGLOBE TVフォン(PN)の利用者同士の通話 8.4円/3分(税込)
		ぷららネットワークスおよびNTT-MEのIP電話基盤を利用するIP電話サービスへの通話 8.4円/3分(税込)
		相互接続しているIP電話サービスへの通話 8.4円/3分(税込)
		国内固定電話への通話 8.4円/3分(税込)
		国内携帯電話への通話 18.375円/分(税込)
		PHSへの通話 10.5円/分(税込) ※25に1回の通話ごとに10.5円(税込)加算
		国際電話 2.5円(免税)分(アメリカなど)

2004年12月31日まで「テレビ電話スタートキャンペーン」のため無料。2005年1月1日以後、上記の金額となる。

フレッツフォン VP1000の主な仕様

液晶	8インチTFT液晶タッチパネル
カメラ	CMOSカメラ30万画素
サウンド(電話)	マイク、ステレオスピーカー(ハンズフリー通話、エコーキャンセラ対応)ハンドセット(オプション)
入出力インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T×1、USB1.1×2、AV出力:映像ピンジャック×1、S端子×1、音声ピンジャック×2 AV入力:映像ピンジャック×1、音声ミニジャック×1、ハンドセット挿入口×1、AC電源アダプター挿入口×1 ボタン×7(方向ボタン、インターネット、メール、TV電話)
対応プロトコル	IPv4/IPv6、SIP、FLET'S.Netナンバー、プロバイダーが提供するIPテレビ電話サービス対応(H.323、そのほかUPnP NATトラバーサル機能) PPPoE
アプリケーション	IPテレビ電話(SIP、FLET'S.Netナンバー、プロバイダーが提供するIPテレビ電話サービス対応 対応H.323対応) ウェブブラウザ、映像ストリーミング再生(Windows Media 9)
寸法(幅×奥行×高)	約214(W)×227(D)×243(H)
質量	約2,000g(電源アダプター含まず)

コンテンツによっては正しく再生できない場合があります。

「Urchin」を採用したサービスが月1,050円で利用可能 NTTスマートコネクがホスティングサービス 「スマートスクウェア」でログ解析サービスを提供

Rental Server

NTTスマートコネクは、ホスティングサービス「スマートスクウェア」シリーズの有料オプションサービスとして、「高度Webアクセスログ解析サービス」の提供を開始した。世界的な実績を持つウェブアクセス解析ツールの最新バージョン「UrchinV5.6」(米国Urchin Software Corporation、国内ではプロトンが販売)を採用し、スマートスクウェア全プランのユーザー向けに初期費用2,100円(税込)、月額費用1,050円(税込)で提供する。

スマートスクウェアは、ウイルスチェックなど50以上の機能が基本サービスとして利用できるコストパフォーマンスの高いホスティングサービスで、ウェブアクセスログ解析も基本機能として提供されている。しかし、従来の解析ツールではページ閲覧数やフ

ァイル閲覧数だけでなく、サイトへの訪問者単位の情報を解析しようとした場合、プロキシサーバーやキャッシュの効果により正確性の面で課題があった。そこで、より高度で正確なアクセスログ解析サービスの提供を目指し、UrchinV5.6を採用したもの。

UrchinV5.6は、独自技術「Urchin Tracking Module」(UTM)により、サイト訪問者がどのようなページを遷移したかの経路情報や、検索エンジン経由のサイト訪問者の履歴情報などを正確に、かつ簡単な操作で解析・閲覧できるのが大きな特徴。このUTM技術により、スマートスクウェアのサービスでは、閲覧されたホームページの経路解析、ホームページの滞在時間の解析、セッション数の解析、検索エンジン経由の訪問者の解析、サイト訪問者の属性解析



URL <http://www.smartsquare.ne.jp/>

など、精度の高い高度な解析が行える。

また、解析期間を「時」「日」「週」「月」に任意設定して、解析結果をグラフィカルに表示したり、解析データを「テキスト」「ワード」「エクセル」にエクスポートしたりすることもできる。過去6か月のデータまでの閲覧も可能だ。

業界最大35万人のモニターを活用、最短24時間で集計 GMOメディアアンドソリューションズがNRIと共同で インターネットリサーチサービス「infoQ」を開始

Service

GMOメディアアンドソリューションズ(GMO M&S)は野村総合研究所(NRI)と共同で、インターネットリサーチサービス「infoQ」を開始した。infoQは、NRIが蓄積してきたリサーチ・コンサルティングやシステム開発のノウハウと、GMO M&Sのネット会員ビジネスの運営ノウハウやシステム開発力を結集して実現したサービス。GMO M&Sは新たに組織したモニター向けに、ポイント管理やメール配信などのサービスを提供し、NRIは企業クライアント向けに、質問設定、回答結果の集計・分析などのサービスを提供する。モニター数は、2004年9月時点で35万人程度からスタートし、100万人にまで拡大する方針。初年度3億円の販売を目標としている。

infoQは、すべてのプロセスがインターネットで完結するため迅速に結果が出せることや、NRIのコンサルティングのノウハウを生かしたフィードバックができることを最大の特徴とする。実際、アテネオリンピック開催中の8月24日、最も印象が残った日本人選手に関する質問や、オリンピック期間中の消費構造についての質問など、14設問のオリンピックに関する自主アンケートを実施したところ、アンケート依頼メールの配信から2時間40分後には1万サンプルを回収できたという。

サービスは通常必要な分析一式を基本パッケージとして、これを先行各社並みの価格で提供するとしているが、初回に限り特別価格でサービスを提供するオープンキ



URL <http://infoq.jp/>

ャンペーンも実施。同時に、企業担当者を対象に「インターネットリサーチセミナー」を開催する予定で、マーケティングの最新動向やインターネットリサーチの活用事例を紹介し、さらなるレベルアップの機会を提供していくという。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp